

末広まちづくり推進協議会 会議録 令和7年度第4回

会議概要	
日時	令和8年3月10日（火曜日）午後6時00分から午後7時30分まで
場所	末広公民館 1階 講座室
出席者	<p>委員（11名、正副会長以外は50音順）</p> <p>村田会長、加藤副会長、泉川委員、清水委員、柴田委員、正部川委員、 館岡委員、田畑委員、中森委員、早川委員、柳澤委員</p> <p>（欠席者 坂田委員、中山委員、前川委員）</p> <p>事務局</p> <p>地域活動推進課 高桑主査</p> <p>末広公民館 澤井館長</p> <p>説明</p> <p>議事1 防災課 大西主査、華園</p> <p>議事2 社会教育課 小島主幹</p> <p>オブザーバー</p> <p>地域まるごと支援員 白河</p>
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴者の数	0名
会議資料	<p>次第</p> <hr/> <p>資料1 防災課「市政情報提供 まとまっぷ」</p> <hr/> <p>資料2 防災課「末広地区防災会議について」</p> <hr/> <p>資料3 社会教育課「地域学校協働活動推進事業」</p> <hr/> <p>資料4 令和7年度末広地域事業報告</p> <hr/> <p>資料5 末広まちづくり推進プログラム</p> <hr/> <p>資料6 令和8年度末広地域事業計画（案）</p>

1 開会

2 市防災課から

(1) 市政情報提供「まとまっぷ」について（報告）

資料1「市政情報提供 まとまっぷ」により、防災課より説明した。これまでは、大河川の洪水対策が中心であったが、今回は、中小河川の対策も記載したこと、土砂災害対策なども触れていること、「濃淡がはっきりしていなくて見づらい」との意見が多かったことから色の違いを強調したこと、ホームページでも公開するので拡大・縮小が可能であること等。委員からの主な質疑は以下のとおり。

- ・ 備蓄されている食料の更新はどのように行われているか。
→（防災課）アルファ化米や野菜ジュースは5年で更新している。
- ・ 備蓄されているものは量的に十分か。
→（防災課）避難所に指定されている学校には、限界まで置かせていただいているがスペースには限界がある。例えば、末広小学校には100食分を置いている。廃校の体育館に一時保管しており、必要時にはそこから補充する。
- ・ 女性用の用品の備蓄についてはどのような感じか。
→（防災課）備蓄に係る計画を改正したので、令和8年度は、生理用品、トイレ用品など買い足す見込みである。
- ・ インターネットに掲載されるデータは印刷可能か。
→（防災課）活用できる。

(2) 末広地区防災会議について（報告）

資料2「末広地区防災会議について」に基づき、防災ワークショップ、防災会議の実施状況について、防災課より説明を行った。委員からの質疑はなし。

3 市社会教育課から

地域学校協働活動推進事業について（報告）

資料3「地域学校協働活動推進事業」に基づき、社会教育課より説明した。子どもたち中心の地域活動の1つに、学校を中心とした「コミュニティスクール」「地域と学校の協働事業」を推進していくため、地域と学校をつなぐ役割の地域コーディネーターを探してもらっていた。令和8年度に向けて、未広地域では5名に地域コーディネーターをお願いすることができたことから、2年間、モデル地域として進めていきたいということであった。このことから、次年度からのまち協には社会教育課もオブザーバーとして参加する。委員の質疑はなかったが、地域としても大いに歓迎し、期待したいという感想が聞かれた。

4 報告・協議事項

（1）令和7年度の未広地域事業報告について

資料4「平成7年度未広地域事業報告」に基づき、「未広地域交通安全対策事業」「未広地域活動団体PR事業」「未広ふれあいスポーツクラブ子どもの居場所づくり事業」「未広見守りネットワーク担い手連携事業」について、各実行委員会から事業報告を行った。委員の補足報告として、未広地域活動センターで実施された運動会には、広陵中学校から卓球部員9名が運営手伝いに来てくれたこと、学校の協力についての話があった。

（2）未広地域まちづくり推進プログラムについて

資料5「未広まちづくり推進プログラム」に基づき、事務局から説明した。第2回、及び第3回のまち協にて、委員の意見交換や内容点検を丁寧に実施したことから、その修正箇所を中心に確認を行った。

（3）未広地域の地域要望について

令和6年度は3題の要望を提出したが、本年度については地域要望なし、となった。

(4) 令和8年度末広地域事業計画(案)について

資料6「令和8年度の末広地域事業計画(案)」に基づいて、「末広地域交通安全対策事業」「末広地域活動団体 PR 事業」「末広ふれあいスポーツクラブ子どもの居場所づくり事業」「末広見守りネットワーク担い手連携事業」について、各実行委員会から事業計画を説明した。委員からの質疑応答は以下のとおり。

- ・次年度に新しく企画する地域防災啓発活動の対象者とか開催場所はどう考えているか。
- ・最初は小規模から始めたいと考えている。
- ・地域活動センター(あつまーる)は調理施設がないが、近くに地域会館もあるので、開催場所として適当と思う。
- ・避難所に備えている物を実際に使ってみる、非常食を実際に食べてみるという、経験してみることなども大事な事と考えている。発電機など、燃料の要るものは実際に使ってみたいところである。
- ・まずは1回行って見て、その経験をベースに、以降の部分を考えていきたい。

5 その他

2年間の最終回ということから、出席委員から感想等を述べた。

有意義に、楽しく意見交換ができたこと、たいへん勉強になった等のお話が聞かれた。

6 閉会